

7月27日、長野県諏訪郡富士見町西嶽(にしたけ)国有林及び編笠山(あみがさやま)国有林において、復旧治山工事、主伐・再造林についての見学会を行いました。

この見学会は、富士見町長からの要請を受けて、企画・開催されたもので、一般参加者11名、町長を始めとした町議会議員等総勢25名の参加がありました。

最初の見学箇所は、現在工事施工中のキッカケ沢復旧治山工事箇所、続いて令和五年度実施済みの施工箇所を見学しました。

キッカケ沢は、平成30年10月1日の台風24号に伴う豪雨により土石流が発生し、溪流部が閉



塞したため、下流部のゴルフ場等に大きな被害をもたらしました。当署では、上流の不安定土砂を下流へ流下させないように、令和元年度から谷止工、護岸工の施工を進めていることを説明しました。

続いて、編笠山国有林のカラマツ立木販売箇所に場所を移し、利用期を迎えた人工林については主伐を行い、多様で健全な森林に誘導するため再造林に取り組んでいることを説明しました。

各現場では、活発な質疑応答、意見交換が行われ、参加者からは、「国有林の現場を見る機会ができて良かった」、「キッカケ沢災害の全体像を知る良い機会となった」、「国有林の施業状況から私有林等の管理を考えるきっかけとなった」等の意見が出されました。

引き続き、このような見学会の開催を通して、国有林野事業への理解、防災意識の向上に努めて参ります。